

平成 28 年度 野幌駅前南口広場工事位置図



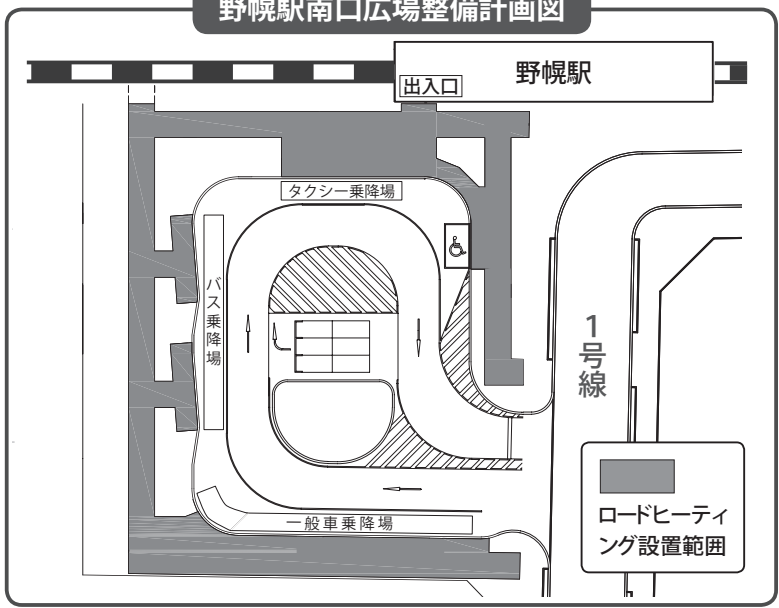
※鉄東線の8丁目通から1号線までの区間は、平成28年度、29年度は通行できますが、南口広場が完成する平成30年度には通行できなくなります。詳細は改めてお知らせします。

平成28年度施行箇所
平成28年度の南口広場の工事は、ロードヒーティング施設の整備のみです。なお、稼働開始は平成30年度を予定しています。

環境に配慮したまちづくり
地中熱を利用したロードヒーティング

野幌駅前南口広場の整備がはじまりました

野幌駅南口広場整備計画図



詳細 都心整備課 ☎ 381-1082

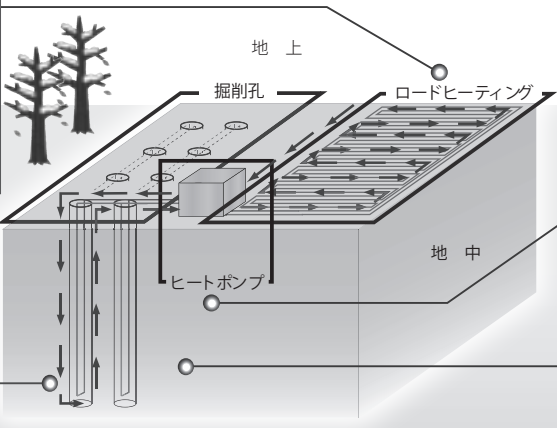
まちの玄関口、交通の結節点となる野幌駅前広場は、歩行者が歩きやすい空間となるように整備を進めており、冬期間でも快適に歩行できるように、ロードヒーティングを設置します。
南口広場のロードヒーティングは、北口広場と同様に、熱源に再生可能エネルギーである地中熱を利用したヒートポンプ式システムを採用しています。地中熱を利用することで、省エネルギーで環境に優しいシステムとなっています。

融雪

地中熱とヒートポンプにより温められた不凍液で雪を融かします。降雪や気温状況に応じて自動で稼働します。

地中熱の採取

地中に深さ100m程度の穴を掘ってチューブを入れます。チューブ内に不凍液を循環させることで、地中熱で温められた不凍液が地表へ戻ってきます。



ヒートポンプの役割
地中熱で温められた不凍液を利用し、ヒートポンプで雪を融かす温度を確保します。

地中熱
深さが10mより深い地点の温度は、年間を通してほぼ一定で、江別市では10℃程度になっています。

地中熱ヒートポンプ式
ロードヒーティングの仕組み

江別市立病院 平成27年度決算

平成27年度決算の概要と、平成28年4月から7月までの経営状況をお知らせします。

平成27年度の決算概要

■平成27年度の取り組み

市立病院では、内科医の増員による診療科の充実や、看護師の安定的確保により医療提供体制の強化を図るとともに、電子カルテシステムを効果的に運用することで待ち時間を短縮するなど、患者サービスの向上に努めました。

「平成27年度の主な取り組み」(表1)のとおり、地域における基幹的な医療を担う市立病院に求められる役割を果たすため、さまざまな取り組みを進めました。

■患者数および収益

入院患者数は9万1,828人となり、前年度に比べ1,438人の増。病床利用率は一般病床が77.6%で1.9ポイントの増、精神病床は59.6%で3.6ポイントの増。外来患者は17万5,216人で5,945人の減、一日平均では21.4人の減となりました。

表1 平成27年度の主な取り組み

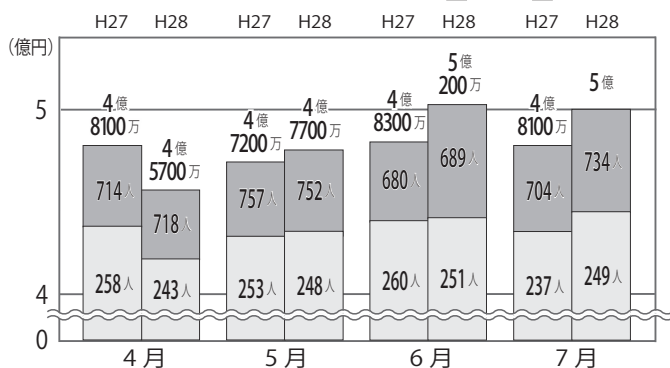
▶ 医療提供体制の整備
総合内科医および消化器科医の増員／看護職員の確保および認定看護師の資格取得推進などの教育体制充実
▶ 医療の質と信頼の向上
医療安全や接遇向上に関わる研修会などの実施／院内情報システムの円滑な運用／MRIの更新による検査機能の向上／計画的な医療機器の更新
▶ 地域医療支援の充実
他町村への医師派遣／江別・南空知4町看護交流会の開催／近隣医療機関からの検査受託対応や講演会の開催による病診連携の強化／健康セミナー（8回）、糖尿病教室（24回）の開催

表2 平成27年度決算と前年度との比較増減

区分	平成27年度	平成26年度	比較増減
病院事業収益	69億2,500万円	69億9,400万円	△6,900万円
病院事業費用	74億700万円	73億8,000万円	2,700万円
単年度純損益	△4億8,200万円	△3億8,600万円	△9,600万円
不良債務残高 (※1)	なし	3億9,100万円	△3億9,100万円
一般会計繰入金 (※2)	14億400万円	14億7,600万円	△7,200万円
一般会計 長期借入金	7億5,000万円	なし	7億5,000万円
患者数	入院	9万1,828人 250.9人/日	9万390人 247.6人/日 3.3人/日
	外来	17万5,216人 721.1人/日	18万1,161人 742.5人/日 △21.4人/日
病床利用率	一般	77.6%	75.7% 1.9ポイント
	精神	59.6%	63.2% △3.6ポイント
	全体	74.4%	73.5% 0.9ポイント

※1 不良債務：公営企業における資金の不足額
※2 一般会計繰入金：地方公営企業法に基づき、一般会計が負担している金額

表3 診療収益と1日平均患者数



■不良債務の解消

平成18年度の急速な経営悪化に伴い発生した不良債務（資金不足）について、平成27年度末までに残高約3億9,100万円を解消することを国から強く求められました。

このため、不良債務解消を平成27年度の最優先課題として経営改善に取り組みました。計画通りの収益を確保するまでには至らず、一般会計から7億5,000万円を借り入れ、資金繰りを改善し、不良債務を解消することができました。

平成28年4月から7月の状況

地域における医療提供体制を維持し、また経営基盤を強化して、今後、借入金を着実に返済していくため、平成28年度からはDPC（包括評価方式）請求制度や地域包括ケア病棟の導入など、経営改善に向けた新たな取り組みを進めています。

取り組みの効果は徐々に表れてきており、5月以降の収益は前年度を上回って推移しています（表3）。今後、これらの運用を適正化する中で、さらなる収益

増につなげることを目指します。

少子高齢化に伴う国の医療制度改革が進む中、公立病院を取り巻く環境はこれまで以上に厳しさを増すものと見込まれますが、地域における基幹的医療提供体制を確保するため、今後も経営健全化に向けたさまざまな取り組みを進めていきます。

職員一同、一層努力し、市民の皆さんに信頼される市立病院として、その役割を着実に果たしていきます。

【詳細】市立病院管理課財務係
☎ 382-5151